

都市再生整備計画 事後評価シート
川越市中心市街地地区

平成27年3月

埼玉県川越市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	川越市	地区名	川越市中心市街地地区			面積	265ha			
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	4,520 百万円	国費率	0.438					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		道路事業(市道0009号線、市内循環線(脇田町)、(仮称)本川越西口駅前通り線、川越所沢線、川越駅南大塚線、川越駅南大塚線旭町1丁目交差点改良)									
	提案事業		地域創造支援事業(本川越駅西口開設工事、都市景観重要建築物の活用)、まちづくり活動推進事業(まちづくりアドバイザーの派遣)									
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	基幹事業		①道路事業(本川越駅前通線) ②公園事業((仮称)川越城富士見櫓公園)	①関連事業とすることが適切と判断したため ②観光の「核」となる施設として旧川越織物市場保存活用事業が、(仮称)川越城富士見櫓公園よりも多くの課題を解決し、通行量の増加に効果があると見込まれるため、指標、数値目標は据え置く			①影響なし ②目標1(市街地の賑わいの増進)の達成に影響 指標1の達成に影響を与えるが、他の要因で通行量が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く					
	提案事業		①事業活用調査(交通調査・解析) ②地域創造支援事業(川越城富士見櫓復元)	①関連事業とすることが適切と判断したため ②観光の「核」となる施設として旧川越織物市場保存活用事業が、川越城富士見櫓復元よりも多くの課題を解決し、通行量の増加に効果があると見込まれるため			①影響なし ②目標1(市街地の賑わいの増進)の達成に影響 指標1の達成に影響を与えるが、他の要因で通行量が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く					
新たに追加した事業		基幹事業	道路事業(川越駅西口駅前広場(市道0009号線)、立門前線)、地域生活基盤施設(川越駅西口歩行者用デッキ)、地域生活基盤施設(川越駅西口駅前広場サイン)、高質空間形成施設(川越駅東口駅前交通広場エレベーター、川越駅西口駅前広場公衆便所、川越駅西口駅前広場シェルター)			目標をよりよく達成するため			安全・快適な歩行空間を整備し、目標1(市街地の賑わいの増進)・目標3(良質な都市空間の創出)の達成に貢献 指標1及び指標3の達成に寄与するが、他の要因で通行量や走行時間が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く			
提案事業		地域創造支援事業(新築修繕補助事業、旧川越織物市場保存活用事業、川越まちなかコミュニティサイクル事業、休憩等施設整備事業)			目標をよりよく達成するため			歴史的建造物の保全・活用を図り、人々が集い易い施設を整備し、新たな交通手段を整備することで、目標1(市街地の賑わいの増進)の達成に貢献 指標1の達成に寄与するが、他の要因で通行量が変動する可能性があるため、指標、数値目標は据え置く				
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-				
変更		変更なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	休日の歩行者・自転車の通行量	人/9時間	124,024	H19	130,000	H26	-	152,072	○	あり なし	-
	指標2	主要駅間の乗換え所要時間	分	11	H21	5	H26	-	11	×	あり なし	● 平成32年3月頃
指標3	走行時間の短縮	分	12	H21	9	H26	-	9	○	あり なし	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	(仮称)本川越西口駅前通り線用地取得率	%	66	H21	/	/	-	100	/	/	-
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 川越駅東口ペDESTリアンデッキにエレベーターを設置したことで、移動の円滑化が図られ、誰もが使いやすい空間を創出することができた。 川越駅西口駅前広場改修事業により、誰もが利用しやすい歩行空間が整備され、歩行者の安全性の向上及びバリアフリー化、交通結節点機能の強化が図られた。また、住民がワークショップに参加したこと等により地域のまちづくりの機運が高まり、川越駅西口地域のイメージアップにつながった。 											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-			
	住民参加プロセス	①まちづくりアドバイザーの派遣 ②川越駅西口駅前広場改修に関する近隣3自治会及び地元商店街との意見交換会、川越駅西口駅前広場の改修に係る意見募集、川越駅西口駅前広場づくりワークショップ、(仮称)本川越西口駅前通り線及び本川越駅西口開設工事に関する地元説明会、旧川越織物市場活用実験イベント			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				① ②			
	持続的なまちづくり体制の構築	①まちづくりアドバイザーの派遣			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				① ①今後とも都市景観形成地域内において、景観まちづくりを推進する協議会の活動を支援することで、良好な景観の形成を図っていく。			

様式2-2 地区の概要

川越市中心市街地地区(埼玉県川越市) 都市再生整備計画事業の成果概要

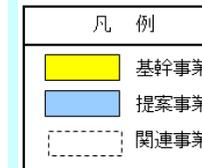
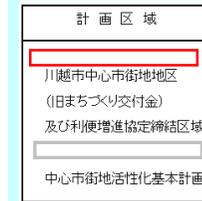
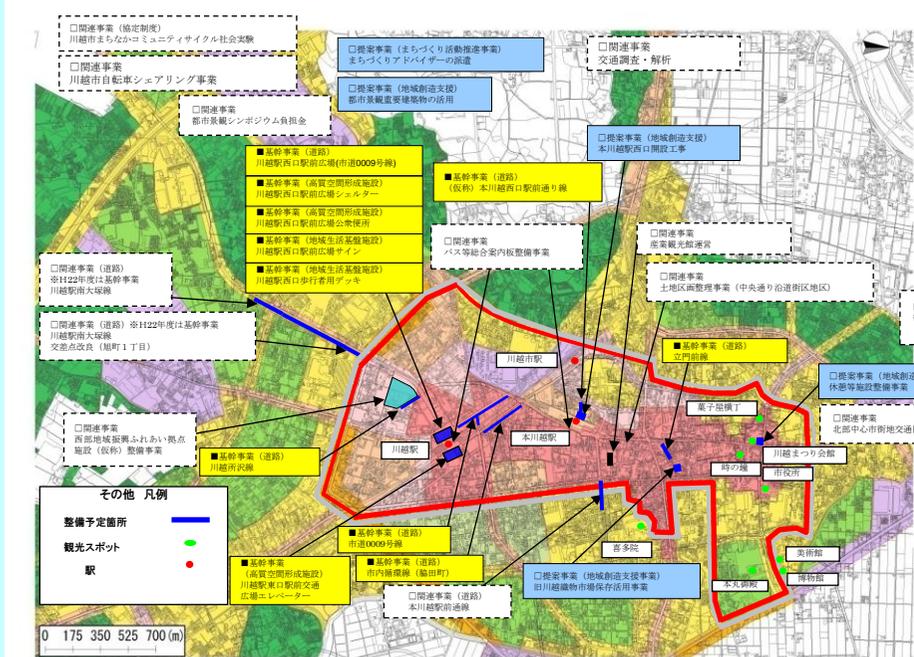
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
大目標 自然と歴史を活かし、市民が安全・快適に暮らせるまちの形成と魅力的な都市空間の創出を目指して、中心市街地の活性化を推進する。 目標1 既存の歴史的建造物等の保全・活用を図り、市民や観光客、買物客等が憩い、集う「核」となる施設を整備・活用することにより、市街地の賑わいを増進する。	休日の歩行者・自転車の通行量 単位:人/9時間	124,024	H19	130,000	H26	152,072	H26
目標2 川越駅、川越市駅、本川越駅間の連携を強化するとともに、各駅へのアクセシビリティの向上を図ることにより、鉄道利用者の利便性の向上を目指す。	主要駅間の乗換え所要時間 単位:分	11	H21	5	H26	11	H26
目標3 三駅周辺の中心商業地区及び歴史的町並み地区の街路整備を進めることにより、道路交通の円滑化を図るとともに、地区間の連携強化を推進する。また、安全・快適な歩行者ネットワークを形成することによって、良質な都市空間を創出する。	走行時間の短縮 単位:分	12	H21	9	H26	9	H26



川越駅西口駅前広場他(改修後)



川越市自転車シェアリング事業



旧川越織物市場保存活用事業



まちづくりアドバイザーの派遣

まちの課題の変化	<p>川越市中心市街地地区都市再生整備計画において、計画当初に掲げた7つの課題に対して取り組んできた結果は、以下の①～⑦のとおりであるが、それぞれが残された課題や新たな課題に直面している。</p> <p>①交通渋滞は、コミュニティサイクルの導入や都市計画道路の整備等により緩和されつつあるが、交差点改良などの課題が残っている。</p> <p>②都市計画道路や駅前交通広場等の整備により、安全・快適な歩行空間の整備、充実が図られつつあるが、防災機能の充実、駅間の連携強化や狭い道路等の安全性の確保を図る必要がある。</p> <p>③幹線道路整備の進捗により、中心市街地の北部(歴史的町並み地区)と南部(中心商業地区)の連携が図られてつつあるが、北部の歴史的な町並みと川越市産業観光館(小江戸蔵里)の間に新たな賑わい施設を整備することなどで、町並みの魅力向上を図る必要がある。</p> <p>④集客施設整備や新たな交通手段の確保と合わせて集客のためのPR活動を実施したことにより、賑わいが創出された。今後は、回遊性の向上を図るための施策が必要である。</p> <p>⑤地域に合った交通施策の検討については、市街地への交通流入を抑制するため、交通誘導看板の設置やパークアンドライドを推進してきた。今後は、オリンピックを見据え、大会会場へのアクセシビリティを向上するための幹線道路の整備等が必要である。</p> <p>⑥増加する観光客のお客満足度の向上を図るために休憩施設の整備に努めてきた。今後も、引き続きお客満足度向上のためにトイレ等の休憩施設の整備を行う必要がある。</p> <p>⑦放射道路の整備については、都市計画道路の整備を推進することで、川越駅西口等へのアクセシビリティの向上が図られた。今後は、市の郊外部での環状道路の整備を推進する必要がある。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>今後のまちづくりの方策は、まちの課題の変化を踏まえ、以下の2点を中心に取り組んでいくこととする。</p> <p>①防災性、安全性に配慮した基盤整備を行い、市民の安全・安心の向上に努めていく。</p> <p>②歴史的な町並みの魅力向上への取組を継続するとともに、観光客等が快適に過ごせる施設や空間の整備、鉄道駅間の連携向上等、川越の魅力向上を図るための取組を推進していく。</p>